

2019Japan National Team Report ”選手”



報告者	クラブ 江の島ヨットクラブジュニア 学年 中学1年 氏名 服部春花		
大会名	IODA北米選手権		
開催地	バハマ・ナッソー		
大会期間	2019年9月27日～10月4日		
セールNo	JPN3174	最終順位	108位

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウェアについて	気温はとても暖かくて夏のようなだった。一日中25℃～30℃くらいで過ごしやすかった。水温は江の島の夏くらいの水温でぬるくもなく冷たくもなく泳ぐのに最適な感じ!! ウェアは多分出場選手164人全員がラッシュだった。パドジャケは必要なかった。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	今大会の海面は上マークの左の方に細長い島のようなものがあつたので、潮や風にも影響があつた。風の傾向は周期が決まっている感じで、これ以上は行かないとわかることが多かった。島の影響で2上は左が有利なことが多かった。
セッティングで注意したこと	海に出ると陸にいる時よりも風が弱かつたので、陸に合わせるとパワーが強すぎることがあつた。だからブラックバンドを注意した。一度海上でコーチに調節してもらつたので、陸で色んな風に合わせたセットをしてみれば良かった。
セーリングで注意したこと	あせるとのぼりすぎてしまうので、スピードのことを考えてのぼりすぎないようにした。
海上で練習したこと	・海外の選手とすべり&コース練習 ・タック、波に合わせた動き、パンピング
実際のスベリはどうか？	ランニングではスピードがあつたからほとんどのレースでぬくことが出来た。

スタートは、どうでしたか？	海外の選手はみんな前に前に行く感じで日本みたいにスタートできなかった。
コース戦略はどうでしたか？	開会式の日とその前日に海外の選手にまじってコース練習をした。そのお陰で振れの感じが少しわかったので、振れタックがしやすかった。
自分より上位の選手との違いは？	スタートの後のボートスピードが足りなくて、良いところでスタート出来ても抜かれてしまう。
国内の練習で役立ったこと	ブランクになったらすぐにタックする練習
国内の練習で足りなかったこと	基本動作練習
印象に残った外国選手は？	CAY1106決勝シリーズはわからないけど、予選の時はたとえ1上が遅くても、スピードでみんなをぬいて最終的にはシングルをとっていることが多かった。
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	海外の選手を見てタックやスピードの違いを感じた。
今後の課題と目標は？	英語をもっと話したかった。Google 翻訳でも話したりしたけど、やっぱり自分の口から話したいと思った。一週間海外にいただけで、すごく聞き取れるようになったから良い経験になった。 これから英語頑張ります。
JODAへの要望	
その他	ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました
JODA海外派遣委員会